

第25回

ふるさとイベント大賞

受賞イベントの概要

令和3年2月12日

【 目 次 】

大賞(内閣総理大臣賞)

ジャパンバードフェスティバル2019 (千葉県我孫子市)	2
------------------------------	---

最優秀賞(総務大臣表彰)

全国高等学校ファッションデザイン選手権大会「ファッション甲子園」 (青森県弘前市)	3
----------------------------------------------	---

優秀賞(地域活性化センター会長表彰)

全国500歳野球大会 (秋田県大仙市)	4
廃線ウォーク (群馬県安中市)	5
大川木工まつり (福岡県大川市)	6

ふるさとキラリ賞(選考委員会表彰)

UNMANNED無人駅の芸術祭／大井川 (静岡県島田市)	7
まちぐるみWedding (山口県光市)	8

選考委員特別賞(選考委員会委員長表彰)

都城六月灯 おかげ祭り (宮崎県都城市)	9
----------------------	---

ジャパンバードフェスティバル2019

ジャパンバードフェスティバル実行委員会(千葉県我孫子市)

【概要】

「人と鳥との共存」を目指し、鳥類知識の普及と教育的、環境的視点に立ったイベント。都心に最も近い天然湖沼である手賀沼周辺で開催している。鳥の研究・保護活動を知ることができるだけでなく、鳥をモチーフにした芸術的・文化的な作品やグッズなど、100以上のブースが多くの人々の心を惹きつけている。



【評価のポイント】

- ・鳥をテーマにしたイベントでは来場者数、出展数ともに国内で最大級となっている。
- ・鳥をテーマにした国際的な繋がり(海外で実施されているバードフェスティバルでの知名度も高くなっており、2018年には台湾で開催されたアジアンバードフェアに招待される)があり、大人のみならず子供に興味を沸かせることができおり、広がりのあるイベントである。
- ・鳥や自然環境についての調査研究・保全・啓発活動を行っている団体・学生・企業とも連携しており、地域の交流が生まれているほか、環境保全意識の向上に寄与している。
- ・何処で始めてもおかしくない、或る意味では普遍的なテーマであるだけに、それを企画し、続けた人たちの努力は大変なものだと想像できる。



最優秀賞（総務大臣表彰）

全国高等学校ファッションデザイン選手権大会 「ファッション甲子園」

ファッション甲子園実行委員会（青森県弘前市）

【概要】

ファッション甲子園は、21世紀のファッション界を担う人材の発掘及び若者の夢の創造をねらいとして開催する高校生による高校生のためのファッションコンテスト。



【評価のポイント】

- ・高校生の創造力やデザイン力向上、チャレンジ精神の育成に大きく寄与している。
- ・全国でも希有な地域活性化イベントとして青森県のイメージアップに貢献するとともに、高校生を対象とした斬新な取組は国内外のファッション関係企業等から支持・支援を受け、さらに地域においても、大会開催で培われた国内ファッション関係者との人脈を活かしたアパレル産業活性化に係る独自の取組が展開されている。
- ・何処で始めてもおかしくない、或る意味では普遍的なテーマであるだけに、それを企画し、続けた人たちの努力は大変なものだと想像できる。



全国500歳野球大会

500歳・550歳野球大会実行委員会(秋田県大仙市)

【概要】

「出場選手9人の合計年齢が500歳以上」という独自のルールで開催している野球大会。「野球に燃える親父たちの甲子園」のキャッチフレーズのもと、全国各地から集結した選手たちが3日間にわたり熱戦を繰り広げている。



【評価のポイント】

・県内でも盛り上がりを見せており、高齢者の健康づくりや長寿社会に大きな役割を果たしている。

・全国大会に発展したことで県外各地から多数のチームが参加し、チーム同士の交流が図られたほか、大会後に大仙市内の観光地を訪れるなど、経済的な波及効果にも繋がっている。

・県外チームの歓迎として、小学生が特製幟旗をプレゼントしており、作成時に出場チームの地域などを調査するため、社会的学習の機会にもなっている。



廃線ウォーク

一般社団法人安中市観光機構(群馬県安中市)

【概要】

1997年に廃線となった信越本線新線の横川-軽井沢区間を特別開放してウォーキングを楽しめる体験型観光コンテンツ。今なお残る鉄道設備、日本一の急勾配区間、碓氷峠の大自然を舞台に進めば「ここでしかできない冒険」が待っている。

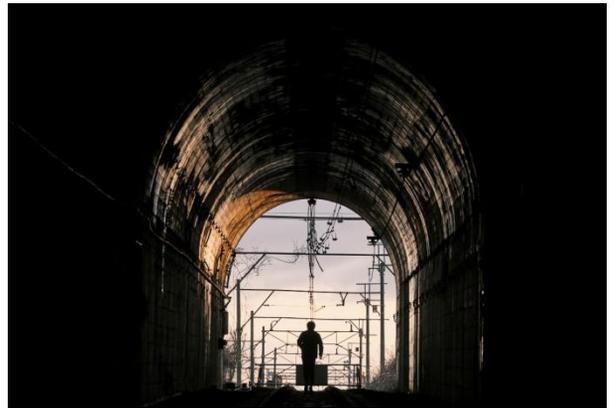


【評価のポイント】

・廃線となった線路を地域資源と捉え、観光に活かしている。鉄道の衰退の中で、鉄道が持っていた人々の記憶を呼び戻させるものである。

・地域、観光、経済団体と連携した観光による地域づくりを進めることにより、地域の稼ぐ力を創出することに寄与している。

・今年度は新型コロナウイルスの影響により、VR映像を活用したコンテンツを提供。普段は立ち入ることができないトンネル内や360度の景色を楽しむことができ、緊急事態宣言下で外出ができない中、十分ファンを楽しませた。



大川木工まつり

大川木工まつり実行委員会(福岡県大川市)

【概要】

家具生産地大川最大のまつり「大川木工まつり」は、480年の歴史がある。

大川木工を地域資源として、世界に誇れる匠の技を継承し、家具の展示即売や木工体験等ものづくりを通して、夢と感動を与える取組がまつりの魅力となっている。

【評価のポイント】

・家具メーカー約200社による家具等の展示販売をはじめ、大川家具の職人の技術とセンスが詰まったネコ家具などを展示し、職人の技術の高さを一般消費者に発信している。

・リピーターも多く、来場者が過去最高の20万人を達成した。

・産業祭部の売上が約1億9,200万円と過去最高を記録。

・展示販売だけでなく、親子木工教室、小学生木工工作展、高校生作品展などを実施し、伝統継承と次世代育成にも尽力している。



アンマンド

UNMANNED無人駅の芸術祭/大井川

特定非営利活動法人クロスメディアしまだ(静岡県島田市)

【概要】

「無人駅がひらくと地域がひらく」をキーコンセプトに、アートを手法とした地域再生の取組。アーティストが地域資源や人々の魅力、時には課題をも顕在化させ、無人駅を核とした集落到息づく「記憶」「風景」「営み」を掘り起こし表現している。



【評価のポイント】

- ・「無人駅」という場を地域資源と捉え、アートの視点で地域の魅力を掘り起こしている。
- ・国内外で活躍する複数のアーティストが滞在し、無人駅とそこから広がる集落の資源に焦点を当てた作品や、地域の人々と一体となった体験型の作品を展開。
- ・作品表現や来訪者との交流により、地域への誇りを持つことに繋がっている。



まちぐるみWedding

光市おせっかいプロジェクトチーム(山口県光市)

【概要】

新たな門出を迎えた2人を、「亭主関白・かかあ天下争奪綱引き」や「幸せお裾分けの餅まき」等によりまちぐるみで祝福する。市民が、2人のために「やさしさ」を持ち寄り、祝福する“おせっかい”なWedding。



【評価のポイント】

- ・イベントの飾り付けや演奏は子どもたちが行っており、会場の装飾作成には、小学生約1,000人が携わっている。
- ・企画から運営まで、その人材や資源の9割以上を地元でまかなっている。
- ・主役となる新郎新婦の定住意識を高めることを促進するのはもとより、光市の「人のやさしさや温かさ」を「結婚式」というツールを使って「まちぐるみ」で体現することで、まちへの愛着感の醸成に繋がっている。



ろがっどう

都城六月灯 おかげ祭り

おかげ祭り振興会(宮崎県都城市)

【概要】

都城盆地の夏の風物詩である「六月灯」は、旧薩摩藩領に伝わる夏祭り。

都城の総鎮守と言われる神柱宮の六月灯に合わせて開催されるお祭りです。毎年7月8日(宵祭り)・9日(本祭り)の2日間の日程で開催され、祭り当日は35,000人とも言われる人出で賑わっている。



【評価のポイント】

・商店街の謝恩イベントの廃止を契機に、地域コミュニティの再生手段として始まったイベント。

・開始当時は20人程度だったが、今では1,500人が参加。

・見物客も35,000人に増えている。

・祭り普及に関する文化活動等の一環として、小中学校への「ふるさと学習」への派遣など、後継者の育成にも注力している。

